

ふれあいトーク記録書（議会報告会）

開催日時： 令和6年2月23日（金）午前10時～11時40分

場 所： 岩倉市生涯学習センター 研修室1・2

参加人数： 市民23人 議員14人

- 次 第：
1. 開会あいさつ 議長
 2. 議会からの報告
 3. 意見交換
 4. 閉会あいさつ 副議長

項目	参加者の意見・質問	議会の応答
		<p>*財務常任委員会委員長が新年度の新規及び主要事業のうち次の5つの事業の内容を説明。</p> <ol style="list-style-type: none">①行政デジタル化支援事業②ゼロカーボンシティ推進プロジェクト事業③名神高速道路スマートインターチェンジ整備検討事業④部活動地域移行・地域連携検討事業⑤小中学校屋内運動場等空調設備設置事業 <p>*同副委員長が議会として各事業についてしっかり審議し可否を決めていくと補足説明。</p>

<p>①行政区デジタル化支援事業</p>	<p>*モデル地区となる6区はどこを想定しているのか。 *自治会専用アプリとはどのようなものか。</p> <p>*時代の必須だと思うのでしっかり検証してほしい。 高齢者に対応できるか。</p> <p>*スマホを持っていない人への連絡はどうするのか。 *回覧板に疑問を感じていた。人と人とのつながりが疎遠にならないか。ただ合理的にという考えだけで進めるべきではない。事業化への市民参加はどうだったか。 *外国籍住民が多いので多言語対応のアプリを導入すべき。 *必要と考えるが連絡機能のみなのか。大変なのは会計処理や名簿づくりなので、それを支援するアプリを導入すべき。 *アプリは個人対応なので世帯単位の連絡ではなくなる。 *自分の区では回覧板はアパートには回しておらず、掲示板を見てという対応である。 *使える人はすぐに導入すべきである。</p>	<p>*決まっていない。 *イメージとしては回覧板のようなもの。役員間の連絡にも使える。 *区役員の負担軽減が目的。現在LINEを活用している区もある。実証実験をして導入可否を判断する。</p> <p>*「未来寄合」に市民が参加して地域課題を抽出してきた。</p>
<p>②ゼロカーボンシティ推進プロジェクト事業</p>	<p>*事業者からの相談への対応はどうか。</p>	<p>*事業者間の意見交換の中で相談にも対応できるように意見していく。</p>

	<p>*プラスチック製品のうち破碎ごみで出すものも資源化できるので、議会からも執行機関に意見してほしい。</p> <p>*マンションなどで電気自動車の充電設備を設置する場合、補助があるのか。</p> <p>*CO2の活用で植物栽培をする容器など、環境教育に活用してほしい。</p> <p>*ゼロカーボンは専門家が考えることで難しいが、成果を発表する場など「見える化」に努めながら継続してほしい。</p>	<p>*事業用としてEVとの同時導入なら補助がある。</p>
<p>③名神高速道路スマートインターチェンジ設置検討事業</p>	<p>*ゼロカーボンとは矛盾する事業。人口8倍の一宮市と費用折半とは。負担のあり方を再検討してほしい。</p> <p>*今年度、国の準備段階調査の不採択の理由は。</p> <p>*市の予算は議会で審議するもの。分からないことはしっかり質疑してほしい。市民にとっては執行機関も議会も同じに見える。</p> <p>*インターチェンジからの距離の問題で困難という認識。国を相手に条件整備をしっかりやってほしい。</p> <p>*市の本気度が感じられない。だらだらやっているのがダメになる。</p> <p>*具体的なメリットを市民に説明すべき。デメリットはすぐに浮かぶが。</p>	<p>*国から示されていない。順番待ちということもあるのかもしれない。採択された箇所との比較など、違った角度で検討すべきか。</p> <p>*企業誘致についてはメリットがあるので、そのことを市民に示すべき。</p>

④部活動地域移行・地域連携検討事業	<p>*部活動指導員と部活動サポーターの違いは。それぞれ資格は必要なのか。</p> <p>*教員ではないので教員との役割の住み分けを。</p>	*事故時の補償も含めて質疑していく。
⑤小中学校屋内運動場等空調設備設置事業	*都市ガスの熱源が気になる。能登半島地震の状況を見るとガスの復旧が遅い。オール電化も課題があるので併用するなどの検討を。	*災害時の想定を確認する。
その他、自由な意見交換	<p>*議会報告会ということで参加したがイメージと違った。予算は誰がつくったのか。</p> <p>*今回の予算をマクロ的に見て、市の予算編成方針をどう見るか。</p> <p>*常任委員会の行政視察が政策提言につながっていない。物見遊山的になっていないか。会派の行政視察との違いは。</p>	<p>*執行機関が作成。議会報告会のネーミングは要検討。今回は予算に対して市民から意見をもらうのが趣旨。</p> <p>*市長の2期目の最後の年。五つの基本目標があり、「持続性の高い魅力ある地域づくり」「地球温暖化防止対策」「生まれる前からの切れ目のない子育て家庭支援」の三つを重点施策としている。</p> <p>*コロナ禍で中止していたが再開し、委員会代表質問や一般質問で提案している。会派のものは課題が一致しているが、常任委員会のものは会派が違うメンバーになるので、課題が一致しない場合もある。</p>

	<p>* 今回の予算に工業団地による税収の増加は反映されているのか。</p> <p>* 今年度の常任委員会の視察先は。</p> <p>* 五条川の桜並木の保存で5本ずつ植え替えているが、大口町はエドヒガン、岩倉市はジンダイアケボノでそれぞれ開花時期が異なる。一斉に咲いた方が良くないか。</p> <p>* マイナンバーカードを使えない人がいるので、紙の保険証を残してほしい。</p>	<p>* 3年間免税なので4年後に1億円の増収が見込まれている。それでも今回の予算では固定資産税で前年度比7千万円以上増収を見込んでいる</p> <p>* 厚生・文教常任委員会は関東方面に子育て支援策や福祉施策を見に行き、委員会代表質問や一般質問を行った。総務・産業建設常任委員会は関東方面と静岡県へ商工振興策や災害対策を見に行き、それぞれ一般質問で取り上げている。</p> <p>* 大口町は住友林業の協力を得てソメイヨシノの後継としてエドヒガンを植えている。岩倉市は1000年保存することをめざしてジンダイアケボノを5本ずつ植樹して検証している。</p> <p>* 保険証廃止には反対派、推進派の両方がいる。国からの通知がないので、今回の予算には保険証廃止が反映されていない。</p>
--	---	--